

令和5年度

国立大学図書館協会シンポジウム

海外で求められる大学図書館員像の実際 : 経営計画・人事政策・研究データ管理

鈴木一生 (SUZUKI Issei) 城西大学経営学部マネジメント総合学科

2023年12月12日(火)

本研究プロジェクトの背景

大学図書館に求められる機能や役割の多様化

- 1.大学の教育機能に対する社会的要請の急速な高まり
(例:ラーニング・コモンズの整備)
- 2.大学の研究機能に対して社会への直接的な還元を求める要請
(例:機関リポジトリの整備)
- 3.学術情報流通におけるインターネットの役割の重要性の向上
(例:電子情報資源の導入・管理・提供)

科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会.
大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー. 2010.

『国立大学図書館協会ビジョン2025』における3つの重点領域

1. 「**知の共有**：蔵書を超えた＜知識や情報＞の共有」
(目標：教育研究成果の長期的な保存やオープン化の推進)
2. 「**知の創出**：新たな知を紡ぐ＜場＞の提供」
(目標：大学図書館は、これまでの物理的な場に加えて、ネットワーク上に存在する情報空間をも知を創出する場としても活用)
3. 「**知の媒介**：**知の交流を促す＜人材＞の構築**」
(目標：図書館員を中心として様々な能力を有する人材の集合体を形成し、また図書館員の能力向上のための制度等を整備)

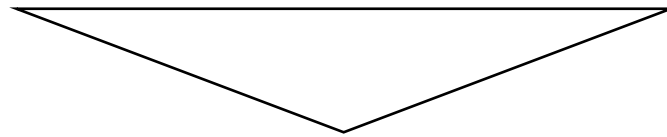
竹内(2014)「大学図書館は変わり続けることができるのか : 大学図書館をめぐる状況に関する一つの考察」

- 米国の大学図書館について、従来のサービスの合理的な整理統合を実施すると同時に、図書館が提供するサービスを拡張させていることを評価
- 日本の大学図書館の「ガラパゴス化」(例: 学術雑誌や図書の電子化の状況)を指摘し、**国際水準の高等教育の実現にむけた学習環境の整備や研究力強化の観点から見ると危機的**であると指摘

日本においても大学図書館及び大学図書館員が環境の変化に合わせて役割を変えていく必要性を指摘

竹内・國本(2020)「大学図書館機能の変化に対応する新しい 大学図書館員の育成に関する考察」

- 『国立大学図書館協会ビジョン2020』では、重点領域として「新しい人材」が記載されているものの、“議論の中心は新しい人材を獲得、あるいは育成するための制度を構築することであり、**これからの大学図書館員とは具体的に何をすることができる人々かという点については書かれていない**”(p.1)と指摘



『国立大学図書館協会ビジョン2025』においても“**図書館職員に求める人材像を明確化し、その採用・育成方針を策定する**”と行動計画に記載されており、依然として**図書館員に求められるスキルや知識は明確化されていない**

日本における大学図書館の課題

- 大学図書館機能の強化には、**大学図書館員の専門性の向上が不可欠**
- 環境の変化とともに多様化した現在の大学図書館員の専門性を実証的に提示することは容易ではない
- 実証的な研究成果に基づき、**専門性が提示されないことによって、大学図書館員の能力向上のために、どのような教育または研修制度を構築する必要があるのかなども具体的に考案できないなどの課題に繋がっている**

欧米における大学図書館を分析する意義

- 大学図書館を巡る環境の変化が論じられると同時に、国際水準の視点から日本における大学図書館が特異な状況にあることが指摘されている
- 日本における大学図書館機能の強化及び大学図書館員の専門性の向上のための制度設計を検討するうえで、環境の変化に対応していると評価される欧米における大学図書館の実態を解明することは重要
- 同時に、欧米における大学図書館の実態を分析することで、国際的な比較の視点から日本における大学図書館の特異性についても解明することが可能

本研究プロジェクトの目的

本研究プロジェクトの目的

欧米における大学図書館の「1.経営計画」、「2.人事政策」、近年日本において喫緊の課題として議論されている「3.研究データ管理関連業務の導入プロセス」を分析し、今後日本における大学図書館の機能強化に向けて、大学図書館員に習得が求められる知識やスキルを実証的に解明する

本プロジェクト(『最終報告書』)の章立て

はじめに

第1章「大学経営における大学図書館の位置づけ」

第2章「欧米の大学図書館における求人情報の分析」

第3章「研究データ管理関連業務の導入プロセスと求められる能力」

第4章「大学図書館員に求められる専門性：今後の展望と提言」

※今回の報告は「分析結果の中間報告」であり、是非日々実務に携わっている図書館員の皆さんから本プロジェクトについてご意見をいただきたい

本プロジェクトの研究者メンバー

鈴木一生 (SUZUKI Issei)

城西大学経営学部マネジメント総合学科

百鳥直樹 (MOMODORI Naoki)

筑波大学大学院博士後期課程情報学学位プログラム

竹田咲子 (TAKEDA Sakiko)

慶應義塾大学メディアセンター本部

富田有美 (TOMITA Yumi)

筑波大学学術情報部

河本毬馨 (KAWAMOTO Marika)

山梨英和大学人間文化学部

小泉公乃 (KOIZUMI Masanori)

筑波大学図書館情報メディア系

逸村裕 (ITSUMURA Hiroshi)

筑波大学名誉教授

第1章

大学経営における 大学図書館の位置づけ

百鳥直樹 (MOMODORI Naoki) 筑波大学大学院博士後期課程情報学学位プログラム
鈴木一生 (SUZUKI Issei) 城西大学経営学部マネジメント総合学科

第1章の研究目的

第1章の研究目的

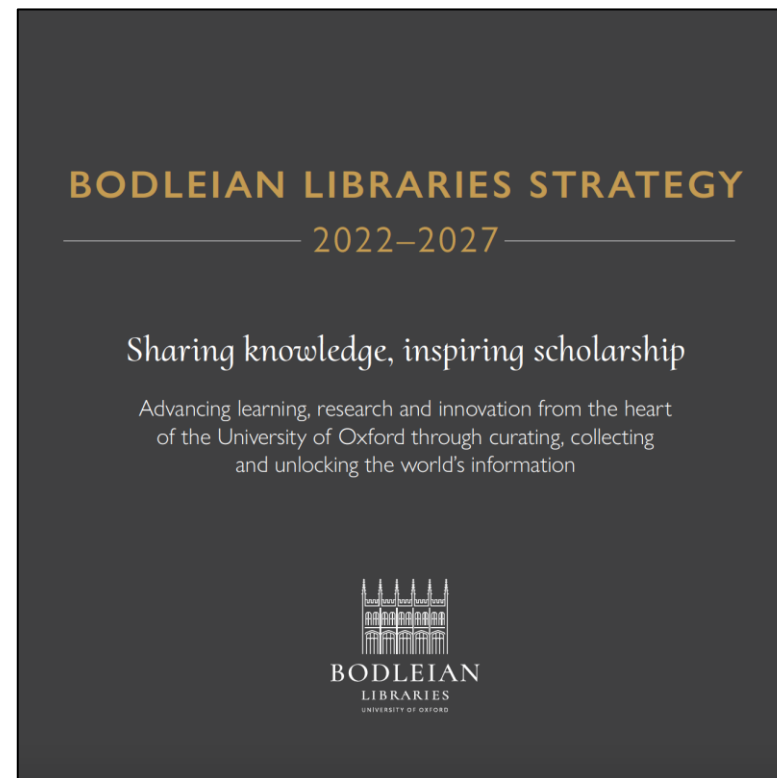
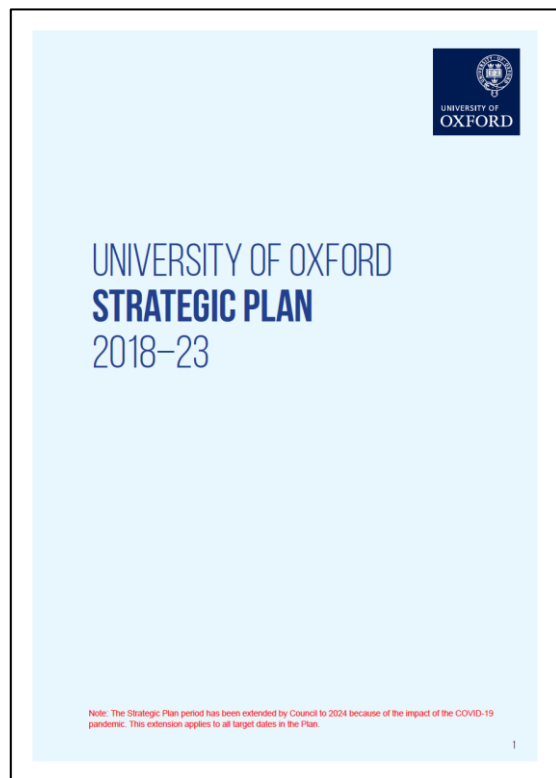
大学経営戦略における大学図書館の位置づけから、
大学図書館が大学経営においてどのような役割を
求められているのかを解明する。

- 欧米の大学と大学図書館が作成・公表した、大学全体の経営戦略計画と図書館の経営戦略計画の内容を分析する。
- 図書館と大学の2つの内容を比較することで、大学の経営戦略計画で直接的に図書館の目標や計画が示されていない場合でも、図書館が大学の経営戦略計画に貢献していることを提示する。

研究手法

研究手法

- 大学の経営戦略計画文書と図書館の経営戦略計画文書を対象に質的内容分析を実施



分析では、分析支援ソフトウェアのMAXQDAを使用

新規プロジェクト プロジェクトを開く アクティブ化を元に戻す 文書システム コードシステム 文書ブラウザ 検索済セグメント レアウト 作業記録 チーム作業 プロジェクトをマージする

文書システム

文書	357
University of Pittsburgh_uni_1	7
University of Pittsburgh_lib_1	24
University of Tennessee_uni_1	5
University of Tennessee_lib_1	19
Imperial College London_uni_1	10
Imperial college of London_lib_1	35
Yale University_uni_1_該当なし	0
Yale University_lib_1	9
Princeton University_uni_1	2
Princeton University_lib_1	7
Cambridge_uni_1	4

コードシステム

文化の多様性の育成	1
批判的思考の育成	3
多様性、その他の社会問題への関与・貢献に関する目標	0
グローバルな情報共有への参加に対する障壁の軽減	1
多様性への取組を反映したプログラム、コンテンツ、サービスの提供	1
図書館サービスを通じた過小に評価されてきた声（個人・団体）を可視化する	1
図書館サービスによる多様性、公平性、アクセシビリティ、包括性への対応	1
知識資源を広く利用できるようにし、広く存在する不公平に対処する	1
あらゆるバックグラウンド、アイデンティティを持つ人々が「大切にされてい...	1
コミュニティのすべての人々を対象とした包括的な環境の構築	1
平等、多様性、包括性における卓越性と革新性のモデルとなるための計画を策...	1
知識への平等なアクセス、非公式の教育の機会、創造的な表現と学術コミュニ...	1

文書ブラウザ: University of Pittsburgh_lib_1

74%

の取組を反映したプログラム、コンテンツ、サービスの提供

and sustain a culture of professional growth, responsiveness, and accountability.

Partner where expertise is complementary and where shared goals exist to achieve mutual benefit.

Reduce local barriers to participation in global information sharing.

Work collectively with national and international organizations and movements to effect positive change in the scholarly ecosystem.

Commit to diversity and inclusion in everything we do.

Provide programming, content, and services that reflect our commitment to diversity.

Develop diversity-focused leadership in every part of our organization.

Create an inclusive and equitable work environment where all can reach their full potential.

Model best practices and recruitment strategies for hiring and hosting diverse library workers.

研究手法

図書館の経営戦略計画の内容に対するコード付与

大学全体の経営戦略計画の内容に対するコード付与

「図書館」「大学」の両方において、目標・計画のテーマを示すカテゴリを作成

【最終的な成果】

- ① 欧米の大学図書館の経営戦略計画で示される目標・計画の要素のカテゴリ
- ② 欧米の大学の経営戦略計画で図書館に関係する目標・計画の要素のカテゴリ

【「図書館」→「大学」の順番】
図書館の経営戦略計画の内容分析から、
大学の経営戦略計画において
図書館と関連する目標・計画を抽出

大学の経営戦略計画で図書館が記述されていた事例

本調査では3大学で、大学の経営戦略計画に図書館に関する記述を確認した

大学	図書館が記載されている部分
University of Toronto ^{a)} (カナダ)	Providing information, library and research services of the highest international standards. Providing the best possible facilities, libraries and teaching aids.
University of Oxford ^{b)} (イギリス)	We will retain the best that Oxford has to offer in its teaching, including close personal supervision and support, access to world leading academics and unparalleled learning resources including our libraries and collections .
Cornell University ^{c)} (アメリカ)	Support academic partners on campus who participate in the activity of global connections, including the colleges, the Library , the School of Continuing Education,...etc.

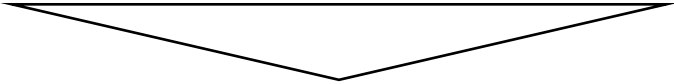
- a) University of Toronto Statement of Institutional Purpose, <https://governingcouncil.utoronto.ca/university-toronto-statement-institutional-purpose>
b) University of Oxford Strategic Plan 2018-23, p.2, https://www.ox.ac.uk/sites/files/oxford/field/field_document/Strategic%20Plan%202018-24.pdf
c) Cornell University Strategic Direction, <https://global.cornell.edu/about/vpia/strategic-direction>

結果

結果：分析対象

- 本調査の分析対象

- ① iSchools* に加盟する北米、欧州の大学
- ② Times Higher Education World University Rankings”の上位10位



「大学図書館の経営戦略文書」と「大学の経営戦略計画文書」の
両方を収集することができた26大学

* 学際的で研究指向のInformation School
(図書館情報学に関する研究と教育を行う大学院)によって構成される世界的組織
ischools Website, <https://www.ischools.org/>

調査大学の一覧

Aalborg University (デンマーク)

Cornell University (アメリカ)

Florida State University (アメリカ)

Georgia Institute of Technology (アメリカ)

Imperial College London (イギリス)

Indiana University-Purdue University Indianapolis (アメリカ)

Long Island University (アメリカ)

Manchester Metropolitan University (イギリス)

Michigan State University (アメリカ)

Princeton University (アメリカ)

University of Cambridge (イギリス)

University of Pittsburgh (アメリカ)

University of Toronto (カナダ)

Carnegie Mellon University (アメリカ)

Drexel University (アメリカ)

George Mason University (アメリカ)

Humboldt-Universität zu Berlin (ドイツ)

Indiana University Bloomington (アメリカ)

Kent State University (アメリカ)

Louisiana State University (アメリカ)

McGill University (カナダ)

Massachusetts Institute of Technology (アメリカ)

The University of Edinburgh (スコットランド)

University of Oxford (イギリス)

University of Tennessee (アメリカ)

Yale University (アメリカ)

結果：「図書館」と「大学」のカテゴリ

テーマ	図書館のカテゴリ	大学のカテゴリ
空間・ 環境整備	コレクションの構築とアクセス環境の整備	様々な情報へアクセスできる環境の整備
	図書館施設・設備の整備	大学施設・インフラの整備
	図書館へのDXの適用	
支援	研究活動を促進するための支援	研究活動の促進
	授業外における学生の学習や生活に対する支援	授業外における学生の学習や生活に対する支援
	授業カリキュラム、授業内容、授業を行う教員に対する支援	授業(基本方針、カリキュラム)
運営・職員	図書館の運営、図書館員の人材育成	大学運営、教職員の人材育成
	大学内外の関係者との連携	大学内外の関係者との連携
概念的な 目標・計画	複数の要素や利用者の属性を包含した目標・計画	複数の要素や利用者の属性を包含した目標・計画
	多様性、その他の社会問題への関与・貢献	多様性、その他の社会問題への関与・貢献
	図書館の空間・サービスを通じた利用者の能力の育成、 価値観や文化の創造	学生・教職員の能力の育成、価値観や文化の創造

結果：大学図書館の経営戦略計画のカテゴリ

テーマ	カテゴリ名	コード付与数(件)
空間・ 環境整備	コレクションの構築とアクセス環境の整備	53
	図書館施設・設備の整備	31
	図書館へのDXの適用	14
支援	研究活動を促進するための支援	63
	授業外における学生の学習や生活に対する支援	39
	授業カリキュラム、授業内容、授業を行う教員に対する支援	14
運営・職員	図書館の運営、図書館員の人材育成	59
	大学内外の関係者との連携	27
概念的な 目標・計画	複数の要素や利用者の属性を包含した目標・計画	31
	多様性、その他の社会問題への関与・貢献	22
	図書館の空間・サービスを通じた利用者の能力の育成、価値観や文化の創造	14

結果：大学の経営戦略計画のカテゴリ

テーマ	カテゴリ名	コード付与数(件)
空間・ 環境整備	様々な情報へアクセスできる環境の整備	5
	大学施設・インフラの整備	20
教育・研究	研究活動の促進	32
	授業外における学生の学習や生活に対する支援	36
	授業(基本方針、カリキュラム)	15
運営・職員	大学運営、教職員の人材育成	11
	大学内外の関係者との連携	4
概念的な 目標・計画	複数の要素や利用者の属性を包含した目標・計画	12
	多様性、その他の社会問題への関与・貢献	15
	学生・教職員の能力の育成、価値観や文化の創造	7

結果：空間・環境整備の具体例

大学の経営戦略計画 様々な情報へアクセスできる環境の整備	図書館の経営戦略計画 コレクションの構築とアクセス環境の整備
<p>UNIVERSITY OF OXFORD Strategic Plan 2018-23¹⁾</p> <p>We will retain the best that Oxford has to offer in its teaching, including close personal supervision and support, access to world leading academics and unparalleled learning resources including our libraries and collections.</p> <p>世界をリードする学術へのアクセス、図書館やコレクションを含む無類の学習リソースによる学習環境。</p>	<p>Bodleian Libraries Strategic plan 2022-2027²⁾</p> <p>Develop our physical and digital services in order to improve access to, and benefit from, library collections (eg books, ejournals, data, manuscripts and archives) and provide for disciplinary differences.</p> <p>様々な資料の種類、形態へアクセスできるようにするための、物理的側面とデジタルの側面でのサービスの開発。</p>

目標・計画に関わることが想定される図書館のサービスや取り組み

ハイブリッド(紙・デジタル)なコレクションの構築とアクセス環境の整備、貴重資料の保存と活用、シェアードプリント

結果：空間・環境整備の具体例

大学の経営戦略計画 大学施設・インフラの整備	図書館の経営戦略計画 図書館へのDXの適用
<p>Imperial College London Strategy 2020-2025³⁾</p> <p>We will maximize the benefits of digital and online technologies to reach beyond the boundaries of our physical campus.</p> <p>物理的なキャンパスの障壁を克服するため、デジタルとオンラインの技術の利点を活用する。</p>	<p>Imperial College London Library Services Strategic Plan 2023-2024⁴⁾</p> <p>We will endeavor to utilize the growing inter-operability between core university systems to optimize our systems and data.</p> <p>大学基幹システムの高い相互運用性を活用して、図書館のシステムやデータの最適化に努める。</p>

目標・計画に関わるものが想定される図書館のサービスや取り組み

システムの開発、更新、最適化などによるワンストップサービスの実現、業務の効率化

結果：支援の具体例

大学の経営戦略計画 研究活動の促進	図書館の経営戦略計画 研究活動を促進するための支援
<p>UNIVERSITY OF OXFORD Strategic Plan 2018-23¹⁾</p> <p>We will be an active partner in the development of open scholarship, providing the tools necessary for researchers to publish and share outputs from their research and to support national and international collaboration.</p> <p>研究者が研究成果を公開および共有するためのツールを整備していく。</p>	<p>Bodleian Libraries Strategic plan 2022-2027²⁾</p> <p>Create a sustainable, world-leading capability, to preserve and give access to born-digital collections, covering Oxford research outputs (publications and data) and collections acquired by the Bodleian Libraries.</p> <p>大学の研究成果を含むコレクションの収集・保存・アクセスを整備する。</p>

目標・計画に関わることが想定される図書館のサービスや取り組み

機関リポジトリ、研究データ管理、その他のオープンアクセス

結果：支援の具体例

大学の経営戦略計画	図書館の経営戦略計画
<p data-bbox="137 376 1228 431">授業外における学生の学習や生活に対する支援</p> <p data-bbox="107 459 1123 511">Cambridge University Mission and core values⁵⁾</p> <p data-bbox="107 631 1233 736">Education which enhances the ability of students to learn throughout life. 学生が生涯を通じて学び続ける能力を高める教育。</p> <p data-bbox="107 859 1228 1019">The widest possible student access to the University. 幅広い方法で学生が大学にアクセスできるようにする(情報へのアクセスなども含まれる)。</p>	<p data-bbox="1319 376 2410 431">授業外における学生の学習や生活に対する支援</p> <p data-bbox="1289 459 2288 565">A Vision for the Future of Cambridge University Libraries⁶⁾</p> <p data-bbox="1289 631 2430 905">Support students in their access and transition to University, and to help students from all backgrounds gain skills that will help them fulfil their potential within Cambridge's world-leading research-rich educational environment and beyond. 学生の大学へのアクセスを支援 様々な背景を持つ学生が、自分の可能性を発揮できるスキルを身につけることができるように支援する</p>

目標・計画に関わることが想定される図書館のサービスや取り組み

著作権・剽窃防止に関わる教育、情報リテラシー教育、読書ツールの開発と取り組み (University of Oxford)

結果：支援の具体例

大学の経営戦略計画 授業外における学生の学習や生活に対する支援	図書館の経営戦略計画 授業外における学生の学習や生活に対する支援
<p>Imperial College London Strategy 2020-2025³⁾</p> <p>We will continue to develop an outstanding student services, streamlined processes and systems which underpin the student journey.</p> <p>学生生活を支えるための優れたサービス、合理的なプロセスやシステムの開発。</p>	<p>Imperial College London Library Services Strategic Plan 2023-2024⁴⁾</p> <p>We will continue to work with academic departments to ensure that formal plagiarism awareness teaching is available to students across every taught course and to all PGR students,....</p> <p>We will expand and formalize our copyright literacy and open research teaching offers, in collaboration with the Graduate School and other relevant partners.</p> <p>学部等の関係組織との連携による剽窃防止、著作権に関する教育の展開。</p>

目標・計画に関わることが想定される図書館のサービスや取り組み

著作権・剽窃防止に関わる教育、情報リテラシー教育、読書ツールの開発と取り組み (University of Oxford)

結果：支援の具体例

大学の経営戦略計画 授業（基本方針、カリキュラム）	図書館の経営戦略計画 授業カリキュラム、授業内容、授業を行う教員に対する支援
<p>IUPUI Strategic Plan⁷⁾</p> <p>Enhance curricula, pedagogy and inclusive teaching practices to engage students and accommodate different learning.</p> <p>カリキュラムを含む教育の取り組みを強化し、学生の関心を高め、多様な学習スタイルに対応する。</p>	<p>IUPUI University Library Strategic Plan 2020-2025⁸⁾ (IUPUI: Indiana University-Purdue University Indianapolis)</p> <p>Library personnel collaborate with instructors to develop, implement, and make accessible course materials that follow pedagogical best practices.</p> <p>授業カリキュラムを支援できるようなコレクションの構築、図書館員と大学教員の連携による授業コース教材の開発。</p>

目標・計画に関わるものが想定される図書館のサービスや取り組み

科目に合わせたコレクションの構築、教材コースの開発、オープンコースウェア

結果：運営・職員の具体例

大学の経営戦略計画 大学運営、教職員の人材育成	図書館の経営戦略計画 図書館の運営、図書館員の人材育成
<p>The Plan for Pitt (University of Pittsburgh)⁹⁾</p> <p>Create a supportive and productive work environment that recognizes the contributions of our faculty and staff by offering competitive compensation and providing professional development opportunities. 協力的で生産的な職場環境の整備。</p>	<p>Strategic Plan 2020-2025 : University of Pittsburg Library¹⁰⁾</p> <p>Create an inclusive and equitable work environment where all can reach their full potential. 包括的で公平な職場環境の整備。</p>

目標・計画に関わるものが想定される図書館のサービスや取り組み

職場環境の整備(公平性、尊重、異なる価値観への寛容)、専門性の向上(デジタルスキル、オープンアクセス)

結果：運営・職員の具体例

大学の経営戦略計画 大学運営、教職員の人材育成	図書館の経営戦略計画 図書館の運営、図書館員の人材育成
<p>Imperial College London Strategy 2020-2025³⁾</p> <p>...we will be more proactive in identifying opportunities to recruit a diverse staff group capable of enhancing the quality of our research and education.</p> <p>教育と研究の質の向上を目指すため、多様なスタッフを採用する機会をつくっていく。</p>	<p>Imperial College London Library Services Strategic Plan 2023-2024⁴⁾</p> <p>We will maintain our commitment to staff development in the areas of teaching, learning and pedagogical best practice....</p> <p>教育と学習の分野における職員の能力開発を継続する。</p>

目標・計画に関わるものが想定される図書館のサービスや取り組み

職場環境の整備（公平性、尊重、異なる価値観への寛容）、専門性の向上（デジタルスキル、オープンアクセス）

結果：運営・職員の具体例

大学の経営戦略計画 大学内外の関係者との連携	図書館の経営戦略計画 大学内外の関係者との連携
<p>LSU Strategic Plan 2025¹¹⁾</p> <p>LSU will engage with civic leaders to advance Louisiana's creative industries and to grow and diversify Louisiana's economy through innovative arts and cultural partnerships and initiatives. 地域(州)との連携による産業や経済の発展。</p>	<p>LSU (Louisiana State University) Libraries Strategic Plan 2017-2022¹²⁾</p> <p>Improve e-resource licensing terms for LSU Libraries and Louisiana libraries, and serve as a national model. 州図書館との電子リソースライセンスの改善における連携。</p>

目標・計画に関わることが想定される図書館のサービスや取り組み

情報リテラシーや研究スキル向上を目的とした他部署との連携 (George Mason University)

結果：概念的な目標・計画の具体例

大学の経営戦略計画	図書館の経営戦略計画
<p data-bbox="122 378 1243 435">複数の要素や利用者の属性を包含した目標・計画</p> <p data-bbox="107 461 1026 511">Kent State University Strategic Roadmap¹³⁾</p> <p data-bbox="107 611 1161 825">Bolster idea generation, innovation, and national distinction through investment in top-tier teaching, research and creative activities, and co-curricular programs.</p> <p data-bbox="206 839 1230 996">大学における教育や研究などの諸活動への投資による、アイデアの創出、イノベーション、国家的な卓越性の強化。</p>	<p data-bbox="1304 378 2425 435">複数の要素や利用者の属性を包含した目標・計画</p> <p data-bbox="1289 461 2313 561">Kent State University Libraries Mission, Vision & Values¹⁴⁾</p> <p data-bbox="1289 611 2277 768">Inspire and teach students, faculty, staff and community to engage with University Libraries' resources for academic and research success.</p> <p data-bbox="1386 782 2430 939">学術と研究で学生、教職員などの構成員が成功できるように、大学図書館の資源を彼らが利用するように働きかける。</p>

目標・計画に関わることが想定される図書館のサービスや取り組み

図書館が大学の構成員(学生・教職員)の学習・研究・ライフスタイルを常に把握する

結果：概念的な目標・計画の具体例

大学の経営戦略計画 多様性、その他の社会問題への関与・貢献	図書館の経営戦略計画 多様性、その他の社会問題への関与・貢献
<p>The Plan for Pitt (University of Pittsburgh)⁹⁾</p> <p>We aspire to be a university community that embodies diversity and inclusion as core values that enrich learning, scholarship, and the communities we serve.</p> <p>多様性と包摂を体現する大学コミュニティをめざす。</p>	<p>Strategic Plan 2020-2025 : University of Pittsburg Library¹⁰⁾</p> <p>Provide programming, content, and services that reflect our commitment to diversity.</p> <p>多様性への取り組みを反映したプログラム、コンテンツ、サービスの提供。</p>

目標・計画に関わることが想定される図書館のサービスや取り組み

社会的不利益を解決するためのコレクション整備やサービス (Indiana University Bloomington)

結果：概念的な目標・計画の具体例

大学の経営戦略計画 学生・教職員の能力の育成、価値観や文化の創造	図書館の経営戦略計画 図書館の空間・サービスを通じた利用者の能力の育成、 価値観や文化の創造
<p>Kent State University Strategic Roadmap¹³⁾</p> <p>To transform lives by providing access and opportunity, fostering diverse and inclusive communities, and advancing the power of discovery, learning and creative expression.</p> <p>アクセスと機会の提供による、多様で包括的なコミュニティの育成と、発見、学習、創造的な表現の向上。</p>	<p>Kent State University Libraries Mission, Vision & Values¹⁴⁾</p> <p>Engage users in creative and critical thinking with new and appropriate information and technology resources.</p> <p>新しく適切な情報と技術資源を通じた、利用者の創造性・批判的思考の醸成。</p>

目標・計画に関わるものが想定される図書館のサービスや取り組み

ラーニング・コモンズにおけるアクティブ・ラーニング、メイカースペースの整備

第1章のまとめ

第1章のまとめ

- 大学の経営戦略計画で図書館について直接的に言及する大学は欧米でも少なかったが、大学の経営戦略には、オープンアクセスや多様性、創造性など、図書館の機能に深く関わる目標・計画が記述されていた。
- 図書館の経営戦略計画では、「研究活動を促進するための支援」を目標・計画に示す大学が特に多く、研究支援における図書館の役割、図書館員の専門性の需要が高いことがうかがえる。
- 「運営・職員」では、図書館が自らのガバナンス、職場環境、職員の人材育成について詳述している大学が多くみられた。
- 「多様性」「学生・教職員の価値観や文化の創造」は、大学図書館が伝統的に担ってきた要素で、図書館のコレクション、サービス、空間による学生や教職員の批判的思考や多様性の文化の醸成を支援する役割を通じて、大学に貢献できる。

参考文献(図書館と大学の経営戦略計画文書)

- オックスフォード大学(イギリス)
 1. 大学: University of Oxford Strategic plan 2018-23, https://www.ox.ac.uk/sites/files/oxford/field/field_document/Strategic%20Plan%202018-24.pdf
 2. 図書館: University of Oxford Bodleian Libraries Strategy 2022-2027, <https://www.bodleian.ox.ac.uk/sites/default/files/bodreader/documents/media/2022-27-strategy.pdf>
- インペリアル・カレッジ・ロンドン(イギリス)
 3. 大学: Imperial College London Strategy 2020-2025, <https://www.imperial.ac.uk/strategy/>
 4. 図書館: Imperial College London Library Services Strategic Plan 2023-2024, <https://www.imperial.ac.uk/admin-services/library/use-the-library/our-strategy/>
- ケンブリッジ大学(イギリス)
 5. 大学: A Vision for the Future of Cambridge University Libraries, <https://www.cam.ac.uk/about-the-university/mission-and-core-values>
 6. 図書館: University of Cambridge Mission and core values, https://www.lib.cam.ac.uk/files/ul_grand_vision_condensed_version_v5.pdf
- インディアナ大学-パデュー大学インディアナポリス校(アメリカ)
 7. 大学: IUPUI Strategic plan, <https://strategicplan.iupui.edu/>
 8. 図書館: IUPUI University Library Strategic Plan 2020-2025 Vision, Mission, and Values, <https://ulib.iupui.edu/about/priorities/strategic-plan>

参考文献(図書館と大学の経営戦略計画文書)

- ピッツバーグ大学(アメリカ)
 9. 大学: Plan for Pitt 2016-2020, <https://www.planforpitt.pitt.edu/plan-pitt-2016-2020>
 10. 図書館: University of Pittsburgh University Library System Strategic Plan 2020-2025, https://www.library.pitt.edu/sites/default/files/pdf/uls/uls_lrp.pdf
- ルイジアナ州立大学(アメリカ)
 11. 大学: LSU Strategic Plan 2025, https://www.lsu.edu/strategicplan/files/lsu_strategicplan_2025.pdf
 12. 図書館: LSU Libraries Strategic Plan 2017-2022, <https://www.lib.lsu.edu/sites/default/files/info/lsulibrariesstrategicplan17-22.pdf>
- ケント州立大学(アメリカ)
 13. 大学: Kent State University Strategic Roadmap(サイト下側にPDF), <https://www.kent.edu/strategicroadmap>
 14. 図書館: Kent State University Libraries Mission, Vision & Values, <https://www.library.kent.edu/about/departments/administration/mission-vision-values>

第2章

欧米の大学図書館における 求人情報の調査

竹田咲子 (TAKEDA Sakiko)

慶應義塾大学メディアセンター本部

富田有美 (TOMITA Yumi)

筑波大学学術情報部

鈴木一生 (SUZUKI Issei)

城西大学経営学部マネジメント総合学科

河本毬馨 (KAWAMOTO Marika)

山梨英和大学人間文化学部

第2章の研究目的

第2章の研究目的

アメリカ、イギリスの大学図書館における求人情報を分析し、就職時に求められるスキルと専門性を調査することで、大学図書館員にどのような専門性やスキルが求められているのかを明らかにする。

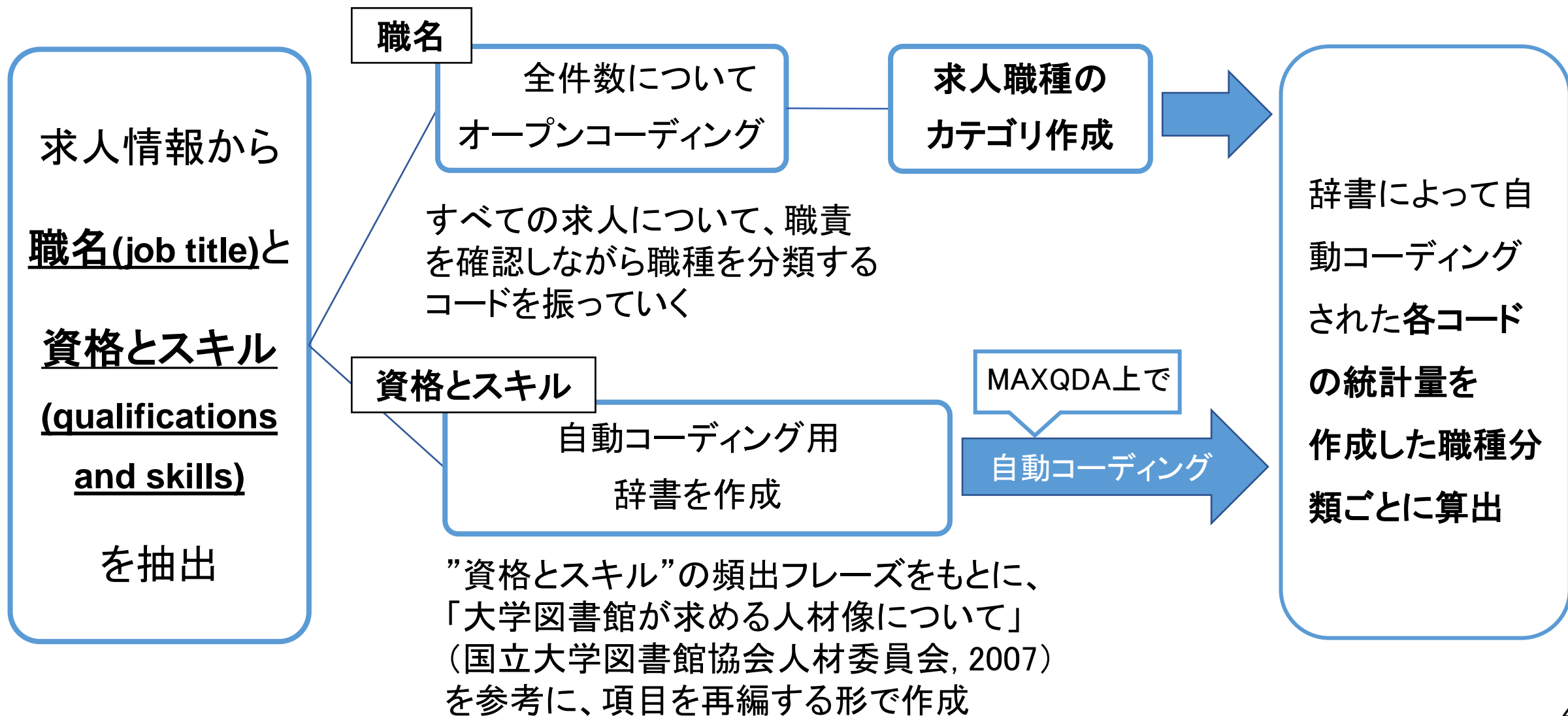
- アメリカやイギリスの大学図書館ではどのような職種の求人があるのか
- 求人の時点で図書館員に求められている専門性やスキルはどのようなものがあるのか

研究手法

研究手法

- 求人情報を対象に、「職名」と「求められる資格・スキル」について、コーディングを行い、職種カテゴリの作成とコードの統計量を算出した
- 質的データ分析ソフトウェアMAXQDAを分析ツールとして使用
(第1章と同様のツール)

研究手法



分析対象

- 収集した求人421件
 - ALA273 件(収集期間2023/1/27-4/3) - CILIP41 件(収集期間2023/2/20-8/16)
 - LIBLISENCE107 件(収集期間2022/4/25-2023/7/)
- 求人元が大学以外であるもの、情報の不足により分析対象として不適切であると判断したもの、あわせて95件については分析対象外

有効な求人数: 収集求人 421件 - 対象外の求人 95件 → 合計326件

結果

分析した求人の職種区分

職務区分	職種区分	Job Titleの例	件数
①経営管理	管理職	Head Librarian, Dean of Libraries, New library director	45
	図書館評価	Assessment & User Experience Librarian, Assessment and Analytics Manager	4
②情報資源の収集・保存・提供	テクニカルサービス	Access and Technical Services Librarian, Head of Technical Services	9
	主題	STEM Librarian, Law Reference Librarian, East Asian Studies Librarian	37
	目録・メタデータ	Metadata Analyst, Head of Metadata Creation, eResource Metadata Librarian	26
	コレクション構築・管理	University Archivist, Ordering and Support Specialist, Collection Strategies Librarian	30
	特別資料	Director of Special Collections, Head of Special Collections and Archives	14
	電子資料	E-Resource Specialist, Digital Initiatives Librarian, E-Access Management Librarian	28
	知的財産権	Copyright and Licensing Advisor, Scholarly Communication and Copyright Librarian	6
	利用者対応	Library Associate, Assistant Librarian for Access and Outreach Services	12
③情報通信技術	業務デジタル化推進	Digitisation Services Manager, Assistant Director Data Mgmt Analysis Content	5
	デジタルスカラシップ	Digital Scholarship Librarian, Research Data Associate or Research Data Specialist	14
	図書館システム管理	Systems & Open Infrastructure Librarian, Systems & Technology Librarian	20
④研究・学習支援	研究支援	Research Impact Librarian, Business and User Experience Librarian	34
	学習支援	Faculty Librarian, Student Success Librarian, Outreach and Engagement Librarian	41

スキルと専門性のカテゴリー(1/2)

カテゴリーラベル	求人情報内の語句の事例	文書数	割合 (%)
資格	graduate, degree, library information, higher education, ala-accredited	294	90.2
対人スキル	teamwork, major relationships, public service skills	240	73.6
実務経験	library work, responsible experience, supervisory experience, years experience	211	64.7
多様性	diverse, diversity	179	54.9
主題別のサービス	relevant subject area, subject matter expertise	170	52.1
課題解決方策	problem solving, analytical	108	33.1
包括性	inclusion, inclusiveness	93	28.5
図書館システムの開発・維持・管理	asset management, library open-source systems, integrated library system	88	27.0
目録、資料組織化	marc, dublin core, authority records, cataloging rules	79	24.2
公平性	equity	75	23.0
参考調査、情報検索、利用者援助	reference, information resources, communicate professionally	72	22.1
資源活用計画	strategic planning, relationship management, project management	69	21.2
マルチタスク	priorities, multiple tasks, multiple assignments	65	19.9
リーダーシップ	leadership, leading organizational, supervisory skills	64	19.6

カテゴリーラベル	求人情報内の語句の事例	文書数	割合 (%)
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	archival, digital preservation, library resource management	54	16.6
キャリア形成	learn new, professional development, acquire new skills	53	16.3
情報リテラシー教育支援	information literacy, teaching experience	47	14.4
経営管理	budget, budgetary, budget management	46	14.1
評価	assessment	46	14.1
プレゼンテーション	presentation, present complex information clearly	43	13.2
統計・分析スキル	analysis, STATA, SPSS, SAS	37	11.3
オープンアクセス	open access, linked data	36	11.0
電子資料(e-Resource)の管理	e-resource access, electronic resource, digital collection management	35	10.7
一般的なパソコンスキル	ms office, computer software, basic computer functions	34	10.4
成果達成	organizational skills, organizational abilities	30	9.2
古典籍・古文書・漢籍等の取扱い	conservation, special collections	28	8.6
知的財産	intellectual property protocols	25	7.7
オープンリサーチ・データ管理	research data, data repository, open research	25	7.7
総合的な案内、閲覧・貸出等	user service, user-centered approach	24	7.4
イノベーション	current trends, emerging technologies	24	7.4
デジタル・ライブラリ/リポジトリの構築・維持・管理	repository, digital repositories, online service access	23	7.1

スキルと専門性のカテゴリー(2/2)

カテゴリーラベル	求人情報内の語句の事例	文書数	割合 (%)
外国語	english language, languages commonly used, european language	23	7.1
プログラミング	computer code, programming languages, python	21	6.4
ICTスキル	ict, digitization	20	6.1
他部署・他機関との連携・協力	partnerships	20	6.1
研究支援	research support, research evaluation, research instructional services	19	5.8
タイムマネジメント	time management	18	5.5
研究手法・プロセスに関する理解	research approaches, data research tools, legal research sources	18	5.5
図書館利用教育	tutorials, library instruction	17	5.2
OER(open educational resources)	digital learning, online learning environment, open educational resources	17	5.2
デジタルスカラシップ	digital scholarship, digital open scholarship	17	5.2
状況判断	appropriate decisions, judgement	10	3.1
実践研究	research skills, research experience, academic research skills	10	3.1
リベラルアーツ教育	liberal arts	7	2.1
データ可視化	data visualization	7	2.1
マーケティング	marketing	7	2.1
交渉力	negotiation	7	2.1
チャレンジ	new approaches, new challenges	4	1.2
批判的思考力	critical thinking skills	2	0.6
研究動向	research trends	2	0.6
ウェブコンテンツの作成	website content	1	0.3

職種ごとのスキルと専門性：管理職（45件）

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
リーダーシップ	21	46.7
経営管理	20	44.4
主題別のサービス	20	44.4
課題解決方策	16	35.6
資源活用計画	14	31.1
包括性	13	28.9
図書館システムの開発・維持・管理	12	26.7
公平性	11	24.4
マルチタスク	10	22.2
評価	9	20.0
一般的なパソコンスキル	8	17.8
成果達成	7	15.6
プレゼンテーション	6	13.3
ICTスキル	5	11.1

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
参考調査、情報検索、利用者援助	4	8.9
キャリア形成	4	8.9
目録、資料組織化	3	6.7
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	3	6.7
電子資料(e-Resource)の管理	3	6.7
知的財産	3	6.7
情報リテラシー教育支援	3	6.7
古典籍・古文書・漢籍等の取扱い	2	4.4
総合的な案内、閲覧・貸出等	2	4.4
オープンアクセス	2	4.4
他部署・他機関との連携・協力	2	4.4
イノベーション	2	4.4
状況判断	2	4.4

職種ごとのスキルと専門性： 図書館評価（4件）

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
評価	3	75.0
主題別のサービス	2	50.0
課題解決方策	2	50.0
データ可視化	2	50.0
統計・分析スキル	2	50.0
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	1	25.0
図書館利用教育	1	25.0
一般的なパソコンスキル	1	25.0
プログラミング	1	25.0
外国語	1	25.0
他部署・他機関との連携・協力	1	25.0
キャリア形成	1	25.0
資源活用計画	1	25.0
イノベーション	1	25.0
マルチタスク	1	25.0
研究手法・プロセスに関する理解	1	25.0

テクニカルサービス（9件）

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
主題別のサービス	6	66.7
目録、資料組織化	5	55.6
図書館システムの開発・維持・管理	5	55.6
公平性	3	33.3
包括性	3	33.3
電子資料(e-Resource)の管理	2	22.2
資源活用計画	2	22.2
課題解決方策	2	22.2
リーダーシップ	2	22.2

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

職種ごとのスキルと専門性：主題専門職（37件）

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
主題別のサービス	20	54.1
参考調査、情報検索、利用者援助	17	45.9
情報リテラシー教育支援	12	32.4
包括性	11	29.7
キャリア形成	10	27.0
資源活用計画	8	21.6
図書館システムの開発・維持・管理	6	16.2
課題解決方策	6	16.2
公平性	6	16.2
成果達成	5	13.5
イノベーション	5	13.5
プレゼンテーション	5	13.5
外国語	4	10.8
マルチタスク	4	10.8

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
統計・分析スキル	4	10.8
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	3	8.1
図書館利用教育	3	8.1
デジタルスカラシップ	3	8.1
オープンアクセス	3	8.1
チャレンジ	3	8.1
タイムマネジメント	3	8.1
リーダーシップ	3	8.1
研究手法・プロセスに関する理解	3	8.1
研究支援	3	8.1
評価	3	8.1
一般的なパソコンスキル	2	5.4
データ可視化	2	5.4

職種ごとのスキルと専門性：目録・メタデータ(26件)

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
目録、資料組織化	24	92.3
主題別のサービス	16	61.5
図書館システムの開発・維持・管理	14	53.8
課題解決方策	13	50.0
オープンアクセス	11	42.3
包括性	9	34.6
外国語	8	30.8
公平性	6	23.1
参考調査、情報検索、利用者援助	5	19.2
電子資料(e-Resource)の管理	3	11.5
プログラミング	3	11.5

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
マルチタスク	3	11.5
統計・分析スキル	3	11.5
一般的なパソコンスキル	2	7.7
ICTスキル	2	7.7
オープンリサーチ・データ管理	2	7.7
資源活用計画	2	7.7
イノベーション	2	7.7
リーダーシップ	2	7.7

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

職種ごとのスキルと専門性：コレクション構築・管理（30件）

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	20	66.7
主題別のサービス	17	56.7
課題解決方策	13	43.3
包括性	11	36.7
目録、資料組織化	10	33.3
資源活用計画	10	33.3
公平性	9	30.0
図書館システムの開発・維持・管理	8	26.7
リーダーシップ	8	26.7
評価	8	26.7
経営管理	7	23.3
成果達成	6	20.0
マルチタスク	6	20.0
プレゼンテーション	6	20.0
統計・分析スキル	6	20.0
古典籍・古文書・漢籍等の取扱い	5	16.7

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
電子資料(e-Resource)の管理	5	16.7
デジタル・ライブラリ/リポジトリの構築・維持・管理	5	16.7
総合的な案内、閲覧・貸出等	4	13.3
キャリア形成	4	13.3
知的財産	3	10.0
ICTスキル	3	10.0
オープンアクセス	3	10.0
イノベーション	3	10.0
交渉力	3	10.0
参考調査、情報検索、利用者援助	2	6.7
OER(open educationla resources)	2	6.7
一般的なパソコンスキル	2	6.7
オープンリサーチ・データ管理	2	6.7
他部署・他機関との連携・協力	2	6.7
実践研究	2	6.7

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、58
対人スキル、実務経験を除く

職種ごとのスキルと専門性：特別資料専門職（14件）

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
古典籍・古文書・漢籍等の取扱い	13	92.9
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	11	78.6
公平性	6	42.9
包括性	6	42.9
主題別のサービス	5	35.7
課題解決方策	5	35.7
資源活用計画	4	28.6
目録、資料組織化	3	21.4
知的財産	3	21.4
参考調査、情報検索、利用者援助	3	21.4
図書館システムの開発・維持・管理	3	21.4

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
外国語	3	21.4
プレゼンテーション	3	21.4
総合的な案内、閲覧・貸出等	2	14.3
情報リテラシー教育支援	2	14.3
デジタル・ライブラリ/リポジトリ の構築・維持・管理	2	14.3
一般的なパソコンスキル	2	14.3
ICTスキル	2	14.3
マルチタスク	2	14.3

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

職種ごとのスキルと専門性：電子資料専門職(29件)

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
主題別のサービス	21	72.4
課題解決方策	17	58.6
電子資料(e-Resource)の管理	15	51.7
目録、資料組織化	13	44.8
図書館システムの開発・維持・管理	13	44.8
マルチタスク	11	37.9
参考調査、情報検索、利用者援助	7	24.1
資源活用計画	6	20.7
リーダシップ	5	17.2
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	4	13.8
包括性	4	13.8
経営管理	3	10.3
古典籍・古文書・漢籍等の取扱い	3	10.3

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
情報リテラシー教育支援	3.0	10.3
デジタル・ライブラリ/リポジトリの構築・維持・管理	3.0	10.3
ICTスキル	3.0	10.3
成果達成	3.0	10.3
統計・分析スキル	3.0	10.3
評価	3.0	10.3
知的財産	2.0	6.9
総合的な案内、閲覧・貸出等	2.0	6.9
一般的なパソコンスキル	2.0	6.9
オープンアクセス	2.0	6.9
キャリア形成	2.0	6.9
状況判断	2.0	6.9
タイムマネジメント	2.0	6.9

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く 60

職種ごとのスキルと専門性： 知的財産権（6件）

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
知的財産	5	83.3
オープンアクセス	2	33.3
課題解決方策	2	33.3
プレゼンテーション	2	33.3
リーダーシップ	2	33.3
包括性	2	33.3

利用者対応（12件）

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
主題別のサービス	6	50.0
図書館システムの開発・維持・管理	5	41.7
参考調査、情報検索、利用者援助	4	33.3
公平性	3	25.0
包括性	3	25.0
目録、資料組織化	2	16.7
情報リテラシー教育支援	2	16.7
資源活用計画	2	16.7
課題解決方策	2	16.7
イノベーション	2	16.7
マルチタスク	2	16.7
タイムマネジメント	2	16.7

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

職種ごとのスキルと専門性： 業務デジタル化推進(5件)

カテゴリラベル	文書数	割合(%)
主題別のサービス	4	80.0
課題解決方策	4	80.0
リーダーシップ	4	80.0
キャリア形成	3	60.0
経営管理	2	40.0
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	2	40.0
古典籍・古文書・漢籍等の取扱い	2	40.0
図書館システムの開発・維持・管理	2	40.0
オープンリサーチ・データ管理	2	40.0

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

デジタルスカラシップ(14件)

カテゴリラベル	文書数	割合(%)
マルチタスク	7	50.0
公平性	7	50.0
課題解決方策	6	42.9
包括性	6	42.9
デジタルスカラシップ	5	35.7
他部署・他機関との連携・協力	5	35.7
プレゼンテーション	5	35.7
プログラミング	3	21.4
オープンアクセス	3	21.4
オープンリサーチ・データ管理	3	21.4
リーダーシップ	3	21.4
統計・分析スキル	3	21.4
主題別のサービス	2	14.3
目録、資料組織化	2	14.3
デジタル・ライブラリ/リポジト リの構築・維持・管理	2	14.3
キャリア形成	2	14.3
資源活用計画	2	14.3
研究支援	2	14.3

職種ごとのスキルと専門性：図書館システム管理（20件）

カテゴリラベル	文書数	割合 (%)
主題別のサービス	14	70.00
目録、資料組織化	10	50.0
図書館システムの開発・維持・管理	9	45.0
プログラミング	5	25.0
資源活用計画	5	25.0
課題解決方策	4	20.0
マルチタスク	4	20.0
経営管理	3	15.0
デジタル・ライブラリ/リポジトリの構築・維持・管理	3	15.0
一般的なパソコンスキル	3	15.0
キャリア形成	3	15.0
統計・分析スキル	3	15.0
総合的な案内、閲覧・貸出等	2	10.0
参考調査、情報検索、利用者援助	2	10.0
オープンアクセス	2	10.0
状況判断	2	10.0
研究手法・プロセスに関する理解	2	10.0
公平性	2	10.0
包括性	2	10.0

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

職種ごとのスキルと専門性：研究支援（34件）

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
主題別のサービス	18	52.9
参考調査、情報検索、利用者援助	13	38.2
公平性	12	35.3
包括性	12	35.3
オープンリサーチ・データ管理	11	32.4
課題解決方策	10	29.4
資源活用計画	9	26.5
統計・分析スキル	9	26.5
キャリア形成	7	20.6
マルチタスク	7	20.6
プレゼンテーション	7	20.6
研究手法・プロセスに関する理解	6	17.6
研究支援	6	17.6
評価	6	17.6
知的財産	5	14.7
一般的なパソコンスキル	5	14.7
図書館システムの開発・維持・管理	5	14.7
プログラミング	5	14.7
リーダーシップ	5	14.7

カテゴリーラベル	文書数	割合 (%)
情報リテラシー教育支援	4	11.8
実践研究	4	11.8
目録、資料組織化	3	8.8
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	3	8.8
総合的な案内、閲覧・貸出等	3	8.8
デジタル・ライブラリ/リポジト リの構築・維持・管理	3	8.8
他部署・他機関との連携・協力	3	8.8
成果達成	3	8.8
イノベーション	3	8.8
電子資料(e-Resource)の管理	2	5.9
リベラルアーツ教育	2	5.9
図書館利用教育	2	5.9
OER(open educationla resources)	2	5.9
オープンアクセス	2	5.9
外国語	2	5.9
マーケティング	2	5.9

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

職種ごとのスキルと専門性：学習支援(41件)

カテゴリーラベル	文書数	割合(%)
主題別のサービス	19	46.3
情報リテラシー教育支援	19	46.3
参考調査、情報検索、利用者援助	14	34.1
キャリア形成	14	34.1
包括性	11	26.8
図書館利用教育	8	19.5
OER(open educationla resources)	8	19.5
マルチタスク	8	19.5
評価	8	19.5
公平性	8	19.5
総合的な案内、閲覧・貸出等	7	17.1
経営管理	6	14.6
図書館システムの開発・維持・管理	6	14.6
課題解決方策	6	14.6
プレゼンテーション	6	14.6
リーダーシップ	6	14.6
一般的なパソコンスキル	5	12.2

カテゴリーラベル	文書数	割合(%)
研究支援	5	12.2
資源活用計画	4	9.8
タイムマネジメント	4	9.8
電子資料(e-Resource)の管理	3	7.3
知的財産	3	7.3
デジタルスカラシップ	3	7.3
オープンアクセス	3	7.3
オープンリサーチ・データ管理	3	7.3
他部署・他機関との連携・協力	3	7.3
実践研究	3	7.3
研究手法・プロセスに関する理解	3	7.3
マーケティング	3	7.3
目録、資料組織化	2	4.9
蔵書構築(資料選定)・管理・保存	2	4.9
ICTスキル	2	4.9
批判的思考力	2	4.9
外国語	2	4.9
成果達成	2	4.9

※全職種区分に共通して多い資格、多様性、対人スキル、実務経験を除く

求人例: Electronic Resources and Scholarly Communications (Juniata College)

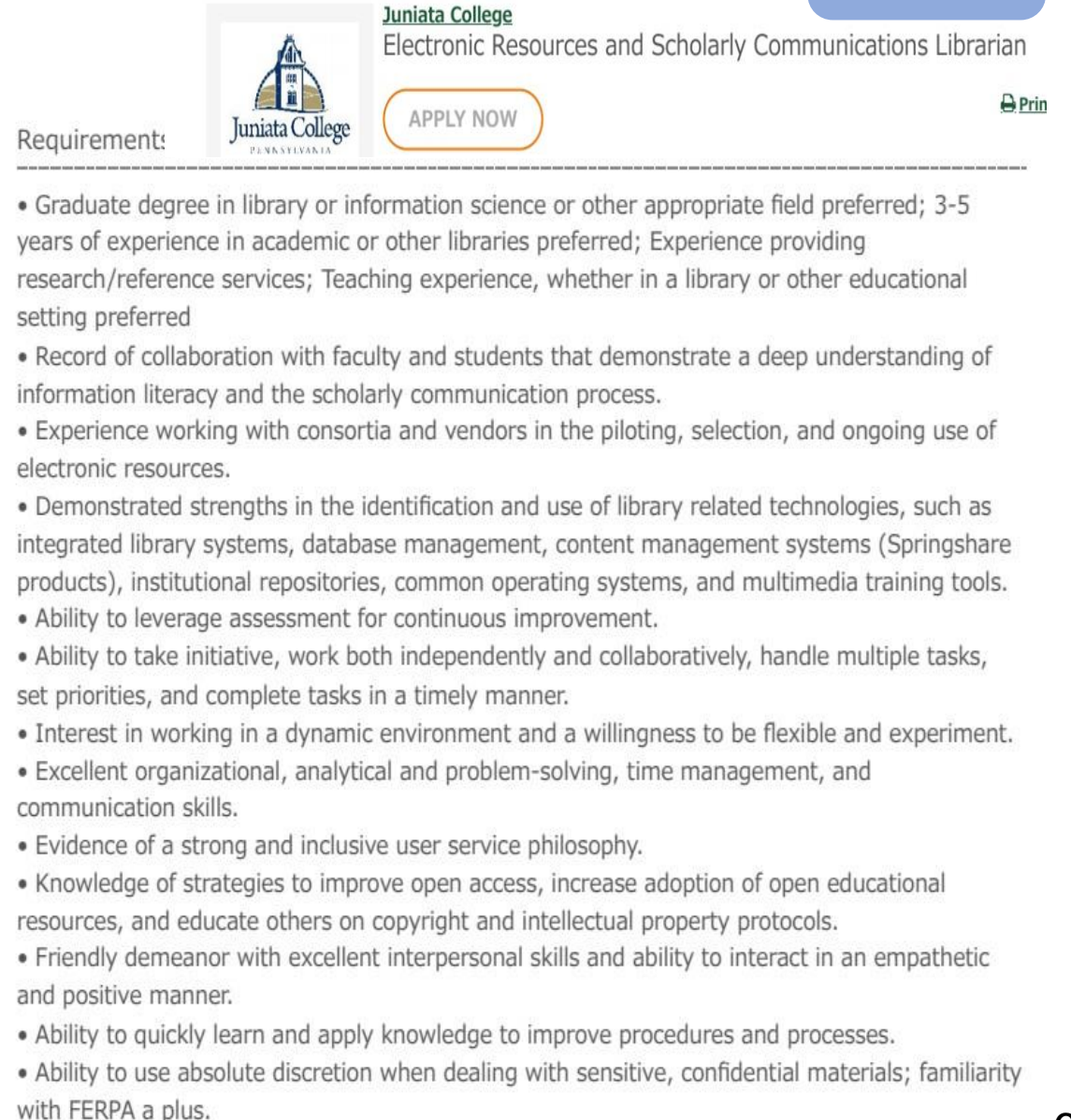
職務概要: 電子資料の広範なアクセスを開発・提供

求められる資格・専門スキル:

- ・図書館学、情報科学分野の修士学位
- ・電子リソースのコンソーシアムやベンダーと協力した経験
- ・図書館関連システム・技術を十分に利用できるスキル
- ・オープンアクセスを改善する知識
- ・著作権や知的財産の知識
- ・教員や学生との協力実績 など

求められる一般スキル:

マルチタスク管理、タイムマネジメント、柔軟性、積極性、優れた組織能力、分析能力、課題解決能力、対人スキル



Requirement:

- Graduate degree in library or information science or other appropriate field preferred; 3-5 years of experience in academic or other libraries preferred; Experience providing research/reference services; Teaching experience, whether in a library or other educational setting preferred
- Record of collaboration with faculty and students that demonstrate a deep understanding of information literacy and the scholarly communication process.
- Experience working with consortia and vendors in the piloting, selection, and ongoing use of electronic resources.
- Demonstrated strengths in the identification and use of library related technologies, such as integrated library systems, database management, content management systems (Springshare products), institutional repositories, common operating systems, and multimedia training tools.
- Ability to leverage assessment for continuous improvement.
- Ability to take initiative, work both independently and collaboratively, handle multiple tasks, set priorities, and complete tasks in a timely manner.
- Interest in working in a dynamic environment and a willingness to be flexible and experiment.
- Excellent organizational, analytical and problem-solving, time management, and communication skills.
- Evidence of a strong and inclusive user service philosophy.
- Knowledge of strategies to improve open access, increase adoption of open educational resources, and educate others on copyright and intellectual property protocols.
- Friendly demeanor with excellent interpersonal skills and ability to interact in an empathetic and positive manner.
- Ability to quickly learn and apply knowledge to improve procedures and processes.
- Ability to use absolute discretion when dealing with sensitive, confidential materials; familiarity with FERPA a plus.

求人例: Associate Chief Librarian, Data Services, Digital Scholarship and Information Technologies (The University of Toronto)

職種分類
デジタルスカラシップ

職務概要:

図書館におけるデータ、デジタル・スカラシップ、情報技術サービスの指導、管理、方針、計画、実施

求められる資格・専門スキル::

- ・図書館情報学の修士学位
- ・情報技術、データ、デジタルスカラシップのニーズとベストプラクティス、トレンドなどに関する知識
- ・図書館内外のステークホルダーとの良好なパートナーシップを構築する能力

求められる一般スキル:

課題解決力、リーダーシップ、対人スキル、
マルチタスク管理、包括性、多様性、公平性



University of Toronto

Associate Chief Librarian, Data Services, Digital Scholarship and Information Technologies

Required Qualifications:

- A degree from an accredited Master's level program in library and information studies;
- Demonstrated commitment to the values of inclusivity, diversity, equity, anti-racism and accessibility;
- Demonstrated deep understanding of information technology, data, and digital scholarship needs in research, teaching, learning and innovation. Knowledge of best practices and emerging developments;
- Significant administrative and managerial experience. Demonstrated planning, decision making and problem-solving skills. Proven ability to lead and to manage in a unionized environment;
- Demonstrated leadership abilities, particularly in team building and creating a common vision that brings together staff to offer excellent services for the benefit of a broad and diverse research and learning community;
- Demonstrated commitment to mentorship and staff development and growth. Capacity to thrive in an environment of change, and to nurture that capacity in others;
- Outstanding interpersonal, intercultural, and communication skills. Proven ability to promote respect and inclusion by working successfully with a wide variety of people and encouraging their participation and involvement. Demonstrated commitment to the values of inclusivity, diversity, equity and accessibility in academic libraries;
- Demonstrated planning, decision making and problem-solving skills. Flexible and able to manage multiple competing priorities in a timely fashion;
- Record of effective collaboration involving diverse faculty, library staff, students and other stakeholders. Proven ability to cultivate positive partnerships within libraries and with external partners and stakeholders.

Preferred qualifications:

- An undergraduate degree and/or an advanced subject degree in a relevant subject area;
- Relevant research experience and expertise. Publication, teaching or other significant contributions to the profession that demonstrates substantial subject mastery;
- Experience in Change Management;
- Significant experience in relevant professional associations;
- Successful record of fundraising through grants, and administration of grants.

求人例: Associate University Librarian for Digital Strategy and Services (University of Chicago Library)

職種分類
図書館システム管理

職務概要:

図書館システム、ディスカバリーシステムなど
図書館のデジタルインフラを監督する

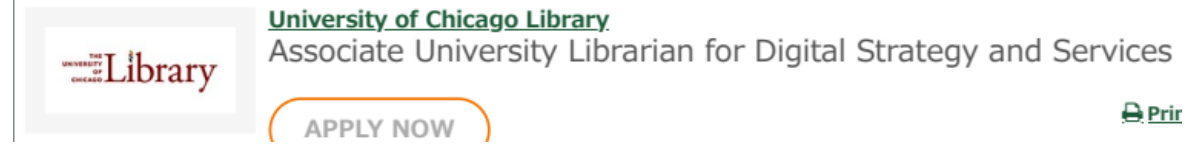
求められる資格・専門スキル:

- 図書館情報学の修士か、修士と同等の経験
- 図書館情報サービスのチーム管理について5年以上の実務経験
- 研究のライフサイクルに関する理解
- 図書館システム、ディスカバリーサービス、デジタルコレクション、研究データ等の専門知識
- 図書館システムやデジタルスカラーシップの経験

など

求められる一般スキル:

コミュニケーションスキル、対人スキル、課題解決能力



Qualifications

Required:

- Master of Library Science degree from an ALA-accredited institution (or combination of a university degree and equivalent experience).
- Minimum of five years of proven leadership in managing teams, budgets, and/or projects at a library or information service provider.
- Understanding of the research lifecycle, especially as it relates to digital research methods and the creation, dissemination, and preservation of digital research outputs.
- Proven expertise in at least two of: library management systems; discovery services; IT user support and system administration; digital collections; digital preservation; research data; repository services; open access/open research; persistent identifiers and research information management.
- Experience with overseeing technical projects, services, and teams, ideally with regards to library systems and/or digital scholarship activities.
- Demonstrated ability to work collaboratively across units as well as with faculty, technical staff, vendors, and stakeholders at all levels, to build impactful partnerships by utilizing excellent interpersonal, written, and oral communication skills.
- Record of grant application and management.
- Record of engaging in debates on digital information services and/or digital scholarship, e.g., through conferences, publications, and participation in community activities.
- Broad understanding of the role and potential of information technology in libraries.

Preferred:

- Ability to identify opportunities for (library) service development, make a case for investment, plan and deliver projects, and turn them into sustainable services.
- Creative and resourceful with strong problem-solving skills and willing to seek out, coordinate, and appropriately disseminate information to key stakeholders.
- Work in a fast-paced, deadline-driven, highly collaborative environment and a demonstrated experience working with and through internal and external partners.

求人例: Student Success Librarian (Menlo College)

職務概要:

学部1年生をはじめとした情報リテラシーや研究スキルの教育
カリキュラムやeラーニング教材の開発をふくむ

求められる資格・専門スキル:

- 図書館情報学の修士(または6か月以内取得見込)
- 教育経験
- デジタル学習オブジェクトの開発経験
- 社会科学とビジネス分野のレファレンス経験
- 教育テクノロジーへの経験・関心
(Springshare LibApps, WMS Library Management System, Canvas Learning Management System)
- 図書館の組織や管理の知識 など

求められる一般スキル:

なし

Virginia Tech

Research Impact Analyst

Qualifications

- Master's degree in Library and Information Science from a program accredited by the American Library Association, or within 6 months of graduating.
- Teaching experience, preferred, including the ability to apply the Association of College and Research Libraries' frameworks for information literacy in instructional design
- Experience developing digital learning objects, including videos, learning modules, surveys and research guides
- Reference experience and ability to use, select and assess resources in the social sciences and business
- Experience with and continuing interest in library and instructional technologies (e.g. Springshare LibApps, WMS Library Management System, Canvas Learning Management System) and use of digital media in education (e.g. screencasting, social media, user experience design)
- Knowledge of general principles of library organization and management

求人例: Data Services Librarian for the Sciences (Harvard University)

職種分類
研究支援

職務概要:

知的財産、著作権、データ管理、学術コミュニケーションに関して研究者をサポートする

求められる資格・専門スキル:

- 修士以上の学位(図書館情報学、コンピュータサイエンス、ほか科学分野)
- 研究データ、データキュレーション、FAIRデータに関する2年以上の経験
- プロジェクト管理の2年以上の経験
- プロジェクトの設計・計画・実行の知識や経験
- 研究の影響指標に関する経験
- 研究トレンドの知識
- 研究ツール(SciVal, InCites, or Academic Analytics)を扱える など

求められる一般スキル:

プログラミング(Python or R)

Harvard University

Data Services Librarian for the Sciences

Basic Qualifications

- Advanced degree in library and information science, computer science, or a science discipline required.
- Two plus years of experience with the research data lifecycle, data curation, and FAIR data principles.
- Two plus years of experience in project management.

Additional Qualifications and Skills

- Experience with current technologies and standards used in institutional repository systems and metadata
- Data curation experience involving a data repository, such as Dataverse.
- Experience collaborating and communicating with faculty and researchers.
- Demonstrated commitment to equity, diversity, inclusion, belonging and antiracism.
- Ability, or willingness to learn, to develop and maintain scripts and tools using common programming languages, especially in Python.
- Familiarity with open source projects and methodologies.
- Familiarity with Linux OS and relational (e.g. MySQL) and/or NoSQL databases.
- Basic familiarity with discipline-specific informatics initiatives (e.g. biodiversity informatics)
- Ability to manage workload, priorities and deadlines and achieve timeline goals.
- Ability to navigate and thrive in a complex organizational environment.
- Ability to learn new technological tools, applications, and techniques continuously.
- Strong written and oral communication skills, including presentation or teaching skills.
- Basic understanding of virtualization and container technologies (VMWare, AWS, Docker) and familiarity with automation and configuration management (puppet, ansible, etc.) and system monitoring and configuration (nagios, etc.)

求人例: Research Impact Analyst (Virginia Tech)

職務概要:

研究データや学術活動データを収集、分析する
研究成果や影響力を実証する

求められる資格・専門スキル:

- 修士以上の学位(MLS/MLIS degree, 図書館情報学, 情報科学等)
- 研究評価や管理の職務経験
- 機関リポジトリ、メタデータのデータキュレーションの経験(Dataverse等)
- 専門分野(生物多様性情報学)等の知識など

求められる一般スキル:

コミュニケーション、対人スキル、プログラミング、タイムマネジメント、プレゼンテーション

Virginia Tech

Research Impact Analyst

Requirements

Required Qualifications:

- M.L.S. or M.L.I.S. degree from an ALA-accredited graduate program or equivalent graduate library science or information science program degree; or an advanced degree in another position-related field; or equivalent combined education and experience in institutional effectiveness or unit engaged in research assessment or research information management systems
- Experience working as a professional in a large research-intensive university, national lab, or similar research-intensive institution
- Education, training, or experience with one or more of the following: researcher profiles and identifiers, scholarly activity data systems and documentation methods, and/or related platforms, software, tools, or databases
- Experience designing, planning, implementing, and maintaining complex projects or services
- Education, training, or experience with research impact metrics
- Evidence of knowledge, background, or experience in current and emerging trends or theories in academic research and scholarship, including equity in research, open research practices, and scholarly communication
- Experience engaging in inclusive practices within work responsibilities to promote a workplace that is welcoming to a diverse workforce and community

Preferred Qualifications: (See Note below)

- Experience with research impact metrics documentation, analysis methods, bibliographic databases, and research analytic software and/or tools such as Scival, InCites, or Academic Analytics
- Experience providing services related to research impact metrics, bibliometrics, altmetrics, -and/or research assessment via consultations, instruction, training, or other means
- Experience in data management and/or data science
- Experience in library services and support for interdisciplinary research approaches, teams, and programs
- Experience providing instruction or training of others, such as: in the use of research profile systems, research and/or project management software or technology, including for collaborative working practices, or related

- Working knowledge of Python or R
- Familiarity with responsible, equitable, and fair research assessment approaches, philosophies, initiatives, and/or practices

第2章のまとめ

第2章のまとめ

- 職種区分カテゴリで示したように欧米では様々な職種の求人がある。中でも近年新しい図書館の機能として注目されている研究支援に関する求人なども多くみられることがわかった。
- 職種に限らず欧米の大学図書館員に求められるスキルには資格(学歴等)、実務経験、対人スキル、多様性の許容が挙げられる。欧米では経験者採用が活発なため実務経験を求める求人が多い。また、対人スキルや多様性の許容など様々なステークホルダーと良好な関係を築く上で重要となる一般スキルである。
- 上記以外の一般スキルとして、課題解決力、マルチタスク管理等も多く挙げられた。

参考文献

- ・ Park, Jung-ran and Lu, Caimei. Metadata Professionals: Roles and Competencies as Reflected in Job Announcements, 2003–2006. *Cataloging & Classification Quarterly*. 2009, vol. 47, no. 2, p. 145–160.
- ・ 大学図書館が求める人材像について -大学図書館職員のコンピテンシー-, 国立大学図書館協会人材委員会報告書. 2007, <http://wwwsoc.nii.ac.jp/anul/j/projects/hr/jinzaizo1903.pdf>

第3章

研究データ管理関連業務の 導入プロセスと求められる能力

河本毬馨 (KAWAMOTO Marika) 山梨英和大学人間文化学部

百鳥直樹 (MOMODORI Naoki) 筑波大学大学院博士後期課程情報学学位プログラム

富田有美 (TOMITA Yumi) 筑波大学学術情報部

第3章の研究目的

第3章の研究目的

大学図書館員の専門性として特に重要視されている研究データ管理（RDM）は、どのような段階を踏んで大学図書館へ導入し、また発展させていくことができるのか、それぞれの段階では図書館員に対してどのような能力が求められているのかを明らかにする

研究手法

第3章の研究手法

- 包括的文献レビュー
- オープンコーディング

質的データ分析ソフトウェアMAXQDAを使用

分析に使用した項目：図書館員によるRDM関連業務/担当者に求められるスキル

導入順序が分かる場合は段階ごとにコード区分

包括的文献レビュー及びオープンコーディングを実施する意義

- 国内外の研究機関における図書館が主導・関与したRDMの導入実践を文献を通して広く調査することで、先行事例がどのような業務を〈図書館が担うべきRDM業務〉とみなして実施してきたのかを網羅的に明らかにすることができる
- オープンコーディングを通して質的に分析することにより、〈図書館が担うべきRDM業務〉が各事例においてどのような順序で取り入れられたのかを詳細に明らかにすることができる
- 国内の文献を通してRDMをめぐる日本特有の状況を把握することで、RDM関連業務・求められるスキルの導入順序を日本の事情を踏まえて検討することができる

対象文献

RDMをテーマとしており、英語あるいは日本語で記述されている文献

使用データベース

- Library and Information Science Abstracts (LISA)
- Library, Information Science and Technology Abstracts (LISTA)
- CiNii Research

英語の学術論文180件＋日本語の学術論文51件及び図書4件→合計235件

結果

第3章の結果

オープンコーディングの結果

- 英語文献における総コーディング数：1,329件
- 日本語文献における総コーディング数：301件 → 合計1,630件

結果をもとに

- 1) 図書館員によるRDM関連業務の一覧
- 2) 日本の大学図書館におけるRDM関連業務の導入プロセスを作成

第3章の結果

1) 図書館員によるRDM関連業務の一覧

カテゴリ	コード（図書館のRDM関連業務）	カテゴリ	コード（図書館のRDM関連業務）
事前情報収集	RDMに関する国家政策の有無と内容の確認 国内・海外における先行事例の収集	リポジトリ整備	RDMに関する既存のインフラ（リポジトリ）の提供 機関リポジトリ・データリポジトリの開発・開発への協力 機関リポジトリ・データリポジトリの整備
図書館内の動機形成	図書館員のRDMの認知・意識向上 RDMに取り組む背景・動機・目標の確認 図書館員間の連携 RDMに関する勉強会	ソフトウェアの保守 データリポジトリの標準化	
現状把握	研究者・学生のRDM現状調査・分析 研究者・学生に対するニーズ調査 既存の図書館サービスやスキルでRDMに応用できる要素の認識 図書館において不足している知識・スキル・インフラの確認	計画実行	RDM導入の進捗の管理 図書館のRDMを含む新業務の定義 RDSのパイロットプロジェクトの実施（RDSの試行）
課題認識	各学問領域特有の課題の考慮 研究者・学生のRDMに対する課題・障害・不安の特定 学問領域・研究者のキャリア・世代等によるRDMの認識の違いの把握	連携・協力	学内の関係部署との連携・協力 学外の関係機関との連携・協力 学内の会議への参加 研究者・学生との良好な関係の構築・交流
ガバナンス	RDM対応部門の設置（機関内） RDM/RDS対応部門の設置（図書館内） RDM担当者の雇用・配置	持続可能性	組織からRDM/RDSに対する承認と支援の獲得 RDMに係る予算確保・資金調達 図書館員のトレーニング・人材育成
RDM/RDSの方針と戦略策定	RDMに関する機関内の目標の設定・共有 RDMに関する図書館の役割の明確化 RDM戦略・計画の策定 RDS戦略・計画の策定 RDMポリシーの策定 ガイドラインの策定	トレーニングの計画と実施	RDMトレーニング計画の策定 研究者へのトレーニング 学生・大学院生へのトレーニング 学内関係者全体へのトレーニング・理解促進 トレーニングの効果についての調査 トレーニングの改善
アドボカシー	研究者・学生・その他関係者に対するRDM・データ共有の認知・意識向上 RDMに関する図書館の存在・役割のアピール RDSの宣伝	教材 個人向けサービス	トレーニング教材の開発 トレーニング教材の提供 トレーニング教材の改善 研究助成申請・資金調達への助言

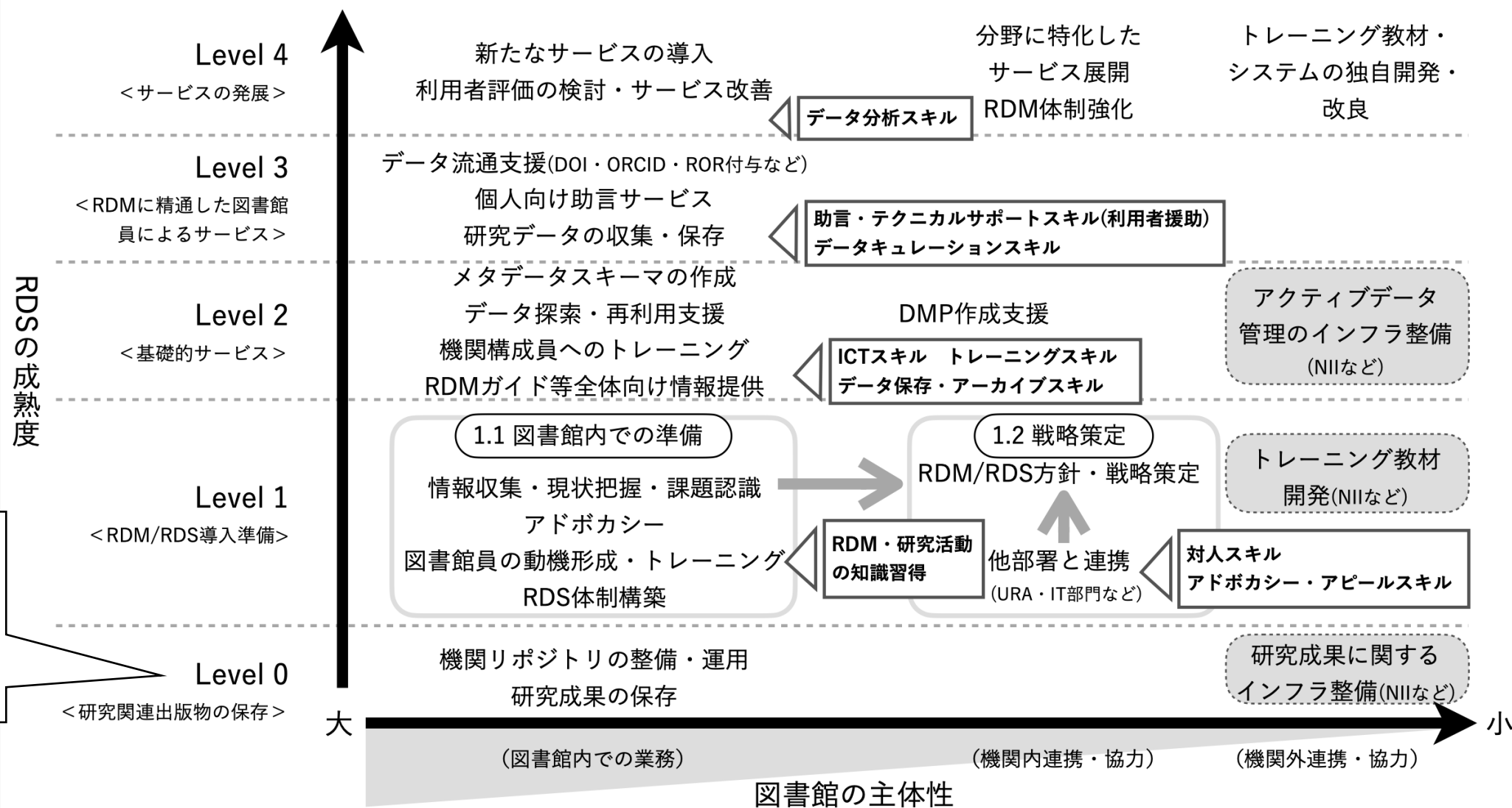
第3章の結果

1) 図書館員によるRDM関連業務の一覧

カテゴリ	コード（図書館のRDM関連業務）	カテゴリ	コード（図書館のRDM関連業務）
個人向けサービス（続き）	データ分析に関する助言	登録と公開	研究データの収集・充実化
	データ保存・アーカイブへの助言		機関リポジトリ・データリポジトリの運用・管理
	原稿作成への助言（引用の方法など）	データ流通のための支援	データキュレーション
	データ管理方法の改善支援		データの発表・公開支援
全体向けサービス	RDM/RDSガイドの作成・提供	メタデータ	影響力測定支援（ビブリオメトリクスなど）
	RDMに関するウェブサイト・ポータル作成		メタデータスキーマの作成・決定
	既存のデータサービス・ツールの紹介・提供		メタデータの作成・追加
	学内のデータ関連サービスの紹介		データセットへの索引づけ
	RDMの専門知識の紹介		データ目録の提供
	カスタマイズされたリソースの提供		古い研究データの情報の調査
DMP作成支援	DMP作成支援	データ探索・再利用	古い研究データの取り扱いをマニュアル化・関係者と共有
	DMP作成		データの再利用の奨励・支援
	既存のDMP作成ツールの利用促進		再利用可能なデータソースの宣伝
	DMP作成ツール・システムの開発		データの探索支援
	DMP作成ツール・システムの提供		機関リポジトリのデータを外部機関のシステムと連結
アクティブデータの管理	データストレージの整備（物理的データ）	RDSの更なる発展	自機関のデータ利用・閲覧に関する問い合わせ窓口の設置
	オンラインストレージへのアクセス支援		利用者による評価
	アクティブデータ管理のためのインフラ整備		再度のニーズ調査
評価とリスクアセスメント	データ共有範囲の定義と明確化		的を絞ったサービスのための研究者への調査（学問領域等）
	著作権・知的財産権・ライセンス財産権に関する対応		RDM関連の司書の追加雇用・配置
	セキュリティへの対応		新たなサービスの導入
	プライバシー・機密情報への対応		リポジトリ・各種ツールの改善
	古いデータの互換性の確認		RDM部門の拡大
保存	データ保存・アーカイブ		データ可視化のための支援
	リクエストへの個別対応		データ可視化

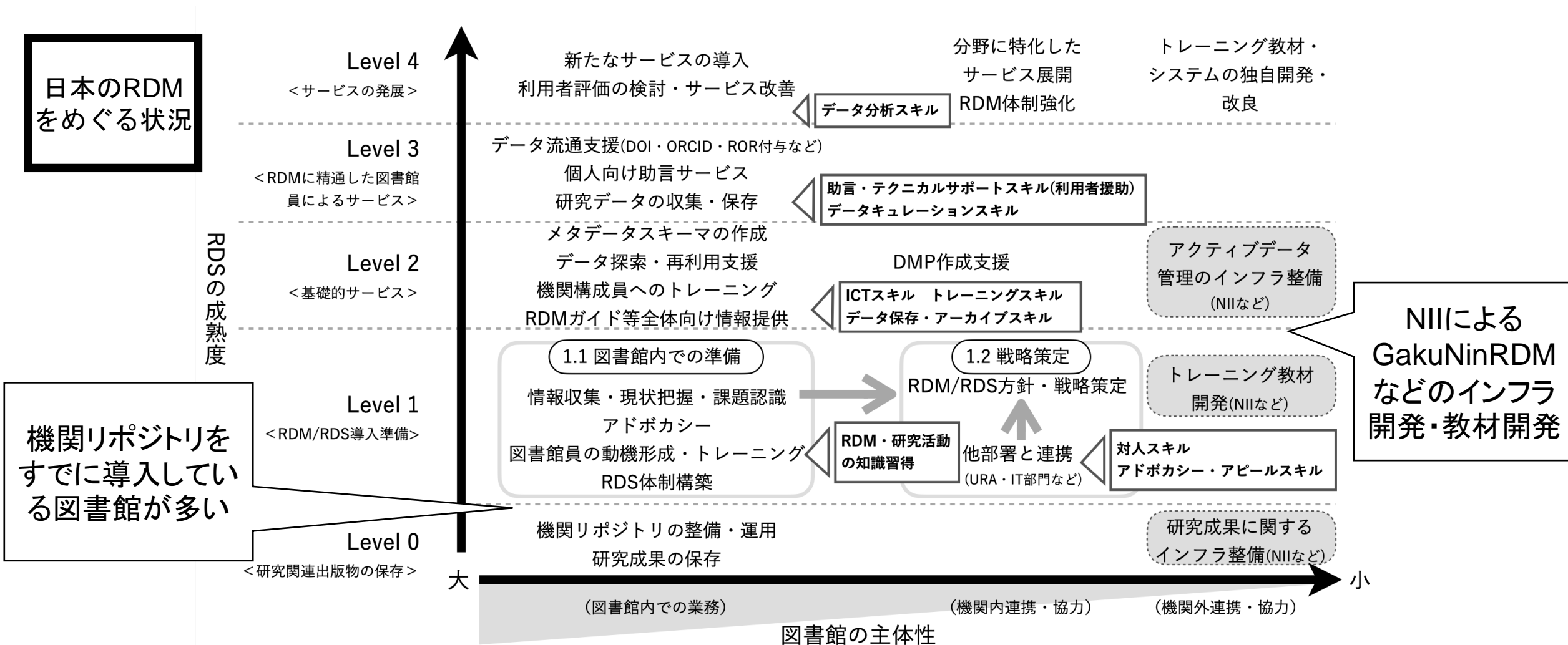
第3章の結果

2) 日本の大学図書館におけるRDM関連業務の導入プロセス



第3章の結果

2) 日本の大学図書館におけるRDM関連業務の導入プロセス



Level 0: 研究関連出版物の保存

機関リポジトリ等の整備による研究成果（出版物）の保存

- 研究成果の保存
- 機関リポジトリの整備・運用・保守

Level 1: RDM/RDS導入準備

RDMやRDSを導入していくための体制構築・戦略策定のフェーズ

① 図書館内での準備

- ・ 海外・国内の先行事例など情報収集
- ・ 研究者・学生などを対象とした調査など現状把握・課題認識
- ・ 研究者・学生・その他関係者に対するアドボカシー
- ・ 担当者の配置などRDSのための体制構築
- ・ 図書館員の動機形成・トレーニング

② 戦略策定

- ・ IT部門やURAなど他部署との連携
- ・ RDM/RDSの方針・戦略策定

担当者に求められるスキルの例：

- ・ RDM・研究活動の知識習得
研究データライフサイクル
データ管理計画（DMP）
データ共有・オープンサイエンス
研究方法論・手法
知的財産権・セキュリティ・プライバシー
- ・ 対人スキル
- ・ アドボカシースキル
- ・ リーダーシップ
（特に図書館長）
- ・ アピールスキル
図書館サービスのアピール

Level 2: 基礎的サービス

図書館の既存サービスを拡張することで可能なRDMサービス

- RDMのガイドやWebページ作成など全体向け情報提供
- 機関構成員（研究者・学生・その他関係者）へのトレーニング
- データソースの宣伝などデータ探索・再利用支援
- メタデータスキーマの作成・決定
- DMP作成支援

新しいが喫緊に求められており、早い段階で取り掛かる方が良いと考えられる

担当者に求められるスキルの例：

- ICTスキル
 - 一般的なパソコンスキル
 - コンピュータに関する知識
 - Webページ作成スキル
 - データリテラシー
- トレーニングスキル
 - プレゼンテーションスキル
- データの記述・メタデータ作成スキル

Level 3: RDMに精通した図書館員によるサービス

図書館員による研究データの取り扱いに関する支援サービス

- 研究データの収集・保存
- 研究者・学生などへの個人向け助言サービス
- データ流通支援（DOI、ORCID、RORなどのPIDの付与など）

担当者に求められるスキルの例：

- 助言スキル
 - 資金調達・助成申請
 - データ管理方法
 - データ保存・アーカイブ
 - データ分析
- テクニカルサポートスキル
- データキュレーションスキル
- PIDの付与スキル

Level 4: サービスの発展

より発展的なサービスの提供

- 利用者による評価
- サービス改善
- 新たなサービスの導入
- 分野に特化したサービス展開
- RDM体制強化
- トレーニング教材・システムの独自開発・改良

担当者に求められるスキルの例：

- データ分析スキル
 - データの可視化（ビジュアライゼーション）
 - ビブリオメトリクス
 - オルトメトリクス
 - データマイニング
 - 統計解析
- プログラミング

第3章のまとめ

第3章のまとめ

- 文献を基礎として、図書館員が担うRDM関連業務を100コード、24カテゴリに区分することができた(事前情報収集、図書館内の動機形成、現状把握、課題認識、ガバナンス、RDM/RDSの方針と戦略策定、アドボカシー、リポジトリ整備、計画実行、連携・協力、持続可能性、トレーニングの計画と実施、教材、個人向けサービス、全体向けサービス、DMP作成支援、アクティブデータの管理、評価とリスクアセスメント、保存、登録と公開、データ流通のための支援、メタデータ、データ探索・再利用、RDSの更なる発展)。
- 日本の大学図書館におけるRDM関連業務の導入プロセスは5段階(Level 0<研究関連出版物の保存>、Level 1<RDM/RDS導入準備>、Level 2<基礎的サービス>、Level 3<RDMに精通した図書館員によるサービス>、Level 4<サービスの発展>)に区分できた。
- 各段階の業務によって、対人スキルやデータ分析スキルなど多様で異なるスキルが求められていた。

参考文献

- Cox, Andrew M., Kennan, Mary Anne, Lyon, Liz, Pinfield, Stephen. Developments in Research Data Management in Academic Libraries: Towards an Understanding of Research Data Service Maturity. *Journal of the Association for Information Science & Technology*. 2017, vol. 68, no. 9, p. 2182–2200.
- Cox, Andrew, Verbaan, Eddy. *Exploring Research Data Management*. Facet, 2018, ISBN978-1-78330-278-9.
- Rans, J., Whyte, A. 'Using RISE, the Research Infrastructure Self-Evaluation Framework' v.1.1 Edinburgh: Digital Curation Centre. 2017. Available online: www.dcc.ac.uk/guidance/how-guides
- “NII 研究データ基盤の概要 | 国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター”. <https://rcos.nii.ac.jp/service/>, (参照 2023-12-04).
- 池内有為, 林和弘. 研究データの公開と論文のオープンアクセスに関する実態調査2020: オープンサイエンスとデータ駆動型研究の推進に向けた課題. *STI horizon = STIホライズン: イノベーションの新地平を拓く*. 2021, vol. 7, no. 4, p. 38–43.
- 池内有為, 林和弘. 日本の研究機関における研究データ管理(RDM)の実践状況: オープンサイエンスの実現に向けた課題と展望. *STI horizon = STIホライズン: イノベーションの新地平を拓く*. 2022, vol. 8, no. 1, p. 50–55.
- 大学ICT推進協議会. 大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン. 大学ICT推進協議会, 2021.

本プロジェクトの今後の展望

本研究プロジェクトの目的

欧米における大学図書館の「1.経営計画」、「2.人事政策」、近年日本において喫緊の課題として議論されている「3.研究データ管理関連業務の導入プロセス」を分析し、今後日本における大学図書館の機能強化に向けて、大学図書館員に習得が求められる知識やスキルを実証的に解明する

本プロジェクト(『最終報告書』)の章立て

はじめに

第1章「大学経営における大学図書館の位置づけ」

第2章「欧米の大学図書館における求人情報の分析」

第3章「研究データ管理関連業務の導入プロセスと求められる能力」

第4章「大学図書館員に求められる専門性：今後の展望と提言」

※今回の報告は「分析結果の中間報告」であり、是非日々実務に携わっている図書館員の皆さんから本プロジェクトについてご意見をいただきたい

本プロジェクトの今後の展望

- 「1.経営計画」、「2.人事政策」、「3.研究データ管理関連業務の導入プロセス」の分析結果を基礎に、国際水準の視点から日本における大学図書館や大学図書館員の特徴を示す
- 今後日本における大学図書館の機能強化に向けて、大学図書館員に習得が求められる知識やスキルを示す
- 日本における大学図書館員の能力向上のために、どのような教育または研修制度を構築する必要があるのかを検討する

令和5年度

国立大学図書館協会シンポジウム

海外で求められる大学図書館員像の実際 : 経営計画・人事政策・研究データ管理

鈴木一生 (SUZUKI Issei) 城西大学経営学部マネジメント総合学科

2023年12月12日(火)